

次世代の地域づくり中核人材育成事業 未来の参画者養成事業

“Yボラ” サマーチャレンジ in 庄内 ～ボランティアのスキルを身に付けよう!!～

8月2日(火)、3日(水)に“Yボラ”サマーチャレンジ in 庄内を開催しました。3年ぶりのYボラ開催でした。当初の予定では、中高生のスキルアップ講座をした後に、学んだことを生かし小学生を招待して「だがしや楽校」を実施する予定でしたが、コロナ感染症の流行拡大のため「だがしや楽校」は中止となりました。今回のYボラには、2日間で28名の中高生が参加してくれました。また、ボランティアサークルでは、三川町の「来夢来人」、酒田市の「かざみどり」、遊佐町の「くじら」、鮭川村の「SAKEKKO」から参加してもらい、活動紹介をしていただきました。

<サークル紹介>



(酒田市：かざみどり)

(遊佐町：くじら)

(三川町：来夢来人)

(鮭川村：SAKEKKO)

スキルアップ講座では、「バルーンアート」「スライムづくり」「恐竜の卵」「ぶんぶんごま」「回転ごま(おりがみ)」の5つの講座に挑戦しました。作品を作って楽しむのではなく、「小学生に教えるにはどうすればよいか」という自分が参画者の立場になったときの視点を持って活動に取り組みました。「作るだけで教えるのは難しい」「これなら、小さい子にも教えられそうだ」などさまざまな意見が出ました。この経験を施設訪問やサークル独自の事業など次のボランティア活動に活かしてもらいたいと思いました。

<スキルアップ講座>



(ぶんぶんごま)

(スライムづくり)

(恐竜の卵)

(バルーンアート)

(回転ごま)

今回のYボラでは、小学生との交流をするボランティア体験活動はできませんでしたが、学校、学年を超えての交流やサークル同士の交流、そして、サークル担当者同士の交流がありました。これからもサークル同士のつながりを大切にし、庄内のボランティアの輪を広げていきたいと思ひます。庄内教育事務所としても、今後もボランティアサークル対象の出前講座やサークル訪問を通して、ボランティア活動を支援していきます。(担当：阿部)

令和4年度ジュニア・リーダースクール

令和元年度までは2泊3日の日程で開催していましたが、3年ぶりとなる今回は感染症対策を考慮して8月10日(水)、11日(木)の2日間日帰りの日程で開催しました。初日は天候の不安もありましたが、午前にはアイスブレイクと講義、午後からグリーンアドベンチャーと冒険ハイクをしました。熱中症などのリスクを回避するため、午後の活動は一部省略して実施しました。午前のアイスブレイクではまだ不安と緊張がある様子でしたが、午後の活動を経て関わりが深まり、笑顔もたくさん見られるようになりました。



2日目は朝に雨が降ったため、金峯山登山と山頂での野外炊飯を体育館でのグループアドベンチャーと食堂での炊飯活動に日程変更することになりました。体育館ではみんなでボールをつないだり、ブルーシートに乗ったまま裏返したりと協力して活動しました。その後、食堂での炊飯活動では山頂での野外炊飯と同じメニューを食堂で調理しました。



2日間の活動を通して指導者の熱意と行動力、参加団員の意識の高さと笑顔がこの事業の支えであり、成果だと思ひました。今回参加した団員が将来リーダー・指導者となり、次の世代との懸け橋になってほしいと思ひます。(担当：志田)

庄内教育事務所ホームページ

庄内教育事務所

検索



→社会教育情報

社会教育事業に関する詳しい情報を掲載しています。

